

答 申 書

平成29年8月25日

京 都 市 長
門 川 大 作 様

平成29年1月25日付けで、当審議会に諮問された本市唯一の交通公園である大宮交通公園の今後のあり方について、審議を重ね、その結果をとりまとめましたので、別紙のとおり答申します。

京都市都市緑化審議会
会 長 槇村 久子

京都市都市緑化審議会は、平成29年1月25日門川大作京都市長から「大宮交通公園のあり方について」諮問を受けた。

本審議会では、諮問内容について、より専門的な見地から検討を進める必要があると判断し、「大宮交通公園のあり方検討部会」を設置した。

検討部会では、大宮交通公園を取り巻く状況と課題を議論した結果に基づき、再整備に向けた方向性【案】を作成し、市民意見募集を平成29年4月28日から同年6月2日の期間において実施した。

8月22日に開催した本審議会において、検討部会から、市民意見募集の結果を踏まえ、更に議論を重ねた結果が報告されたことを受け、本審議会として下記のとおり、答申する。併せて、大宮交通公園のあり方について本審議会ですとまとめた資料を添付する。

答申

（再整備のコンセプト）

京都市唯一の交通公園として、楽しみながら交通に関する知識や正しい交通ルールを学べる公園の位置づけは継承する。

北消防署の移転を契機として、都市公園と消防の機能を一体化させ、防災機能を強化するとともに、安心・安全を守るオープンスペースを確保し、都市機能の向上を図る。

特徴のある地形を生かして回遊性を確保し、史跡的価値の高い御土居やくつろぎのある芝生広場、開かれた消防施設などを効果的につなぎ・活用することで、憩いと安らぎ、楽しさを感じられる空間づくりを目指す。

（各ゾーンにおける整備の方向性）

1 交通学習ゾーン

現在の交通問題に沿った、自転車の安全教育を中心とした、新たな交通学習施設として整備

2 すこやかゾーン

区民誇りの木を活かしたやすらぎのある、明るいオープンスペースとして整備

3 御土居ゾーン

歴史的な価値を有する御土居を活かした広場として整備

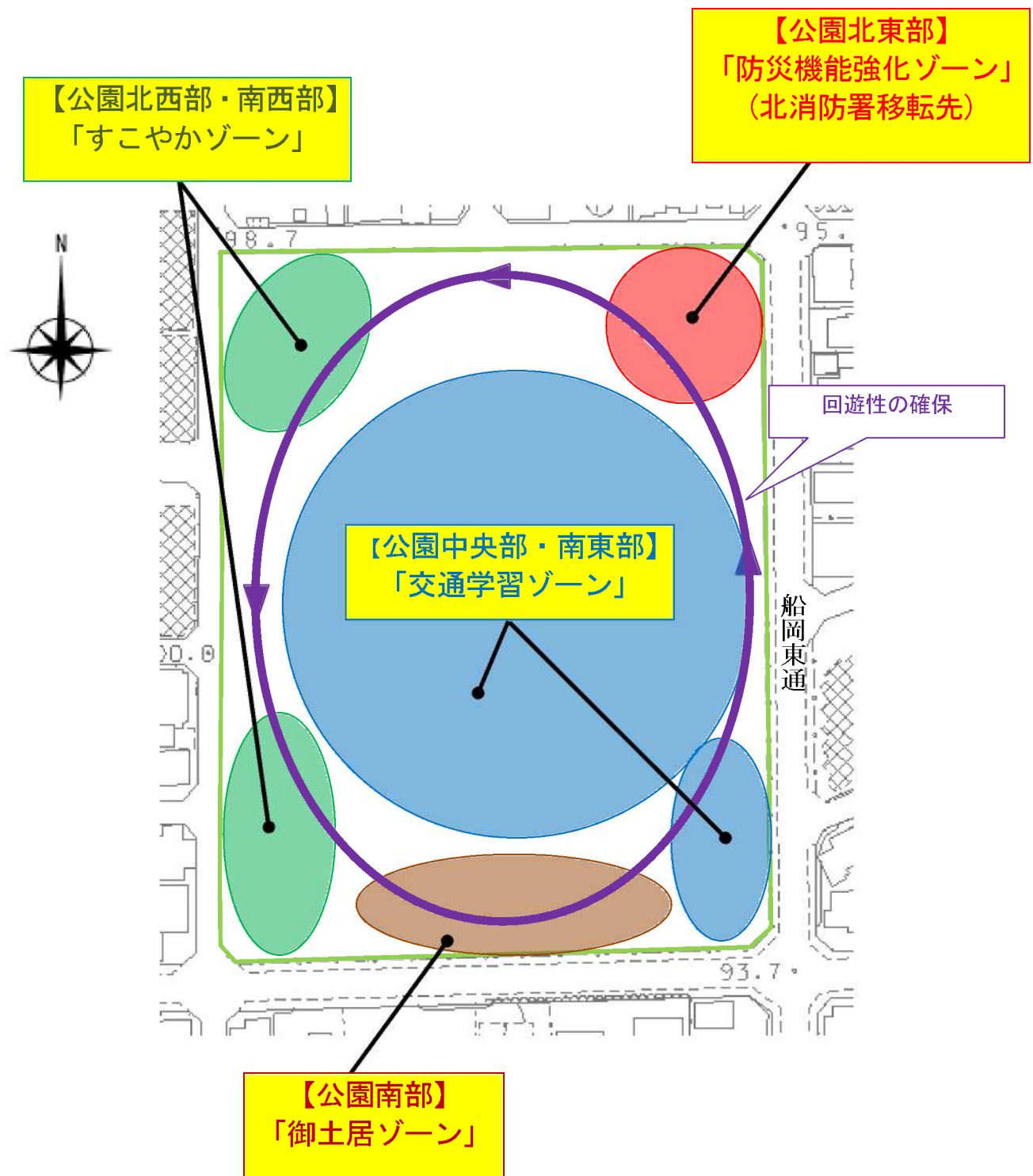
4 防災機能強化ゾーン

北消防署と一体化し広域避難場所としての防災機能強化、環境・景観への配慮

本審議会は、今回の北消防署の移転を契機とする都市施設の再編が、答申の示す方向で大宮交通公園を再整備することにより、都市の防災性や快適性が高まることで、総合的な都市機能の向上が図られることを期待するものである。

平成29年8月25日
京都市都市緑化審議会
会長 榎村久子

ゾーニングイメージ



大宮交通公園のあり方について

平成 29 年 8 月

京都市都市緑化審議会

目 次

第1章 はじめに	・ ・ ・ ・ ・ P. 2
第2章 大宮交通公園の概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 3
第3章 大宮交通公園の主な施設等	・ ・ ・ ・ ・ P. 5
1 管理棟	・ ・ ・ ・ ・ P. 6
2 模擬交通施設	・ ・ ・ ・ ・ P. 6
3 乗り物	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
4 遊具、電車等	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
5 広場、緑地・園路	・ ・ ・ ・ ・ P. 9
6 御土居、祠	・ ・ ・ ・ ・ P. 10
7 防災トイレ、駐車場	・ ・ ・ ・ ・ P. 11
8 イベント	・ ・ ・ ・ ・ P. 11
第4章 大宮交通公園を取り巻く状況	・ ・ ・ ・ ・ P. 12
1 本公園の抱える課題	・ ・ ・ ・ ・ P. 12
2 他都市の交通公園の状況	・ ・ ・ ・ ・ P. 15
3 本公園敷地内への北消防署の移転	・ ・ ・ ・ ・ P. 16
第5章 大宮交通公園のあり方の検討	・ ・ ・ ・ ・ P. 18
第6章 大宮交通公園の再整備の方向性	・ ・ ・ ・ ・ P. 19
1 市民意見募集結果	・ ・ ・ ・ ・ P. 19
2 本公園の再整備の方向性	・ ・ ・ ・ ・ P. 23
審議日程	・ ・ ・ ・ ・ P. 27
名簿	・ ・ ・ ・ ・ P. 28
諮問書	・ ・ ・ ・ ・ P. 29

第1章 はじめに

大宮交通公園は、自動車交通の急速な進展に伴い、本市の交通事故発生件数が過去最大となった昭和44年に、子どもが楽しみながら交通に関する知識や、正しい交通ルールを身につけることができる施設として整備された。

本公園は、ゴーカートに乗れる模擬交通施設や、大型滑り台・ジャングルジム等の子ども用遊具だけでなく、豊臣秀吉が築いた歴史的な御土居が園内にあり、市民に大変親しまれている公園ではあるが、約半世紀の時間が経過し、施設の老朽化や交通事情の変化に対応していないなどの課題も現れてきている。

一方で、北区の北部地域における防災機能の向上のため、平成33年度を目途に北消防署を本公園の一部に移転することとしており、これを機に一層使いやすい公園となるよう検討する必要がある。

このような状況の中、本市唯一の交通公園である大宮交通公園のあり方について、取りまとめるため、「大宮交通公園のあり方検討部会」において、検討を行うものである。

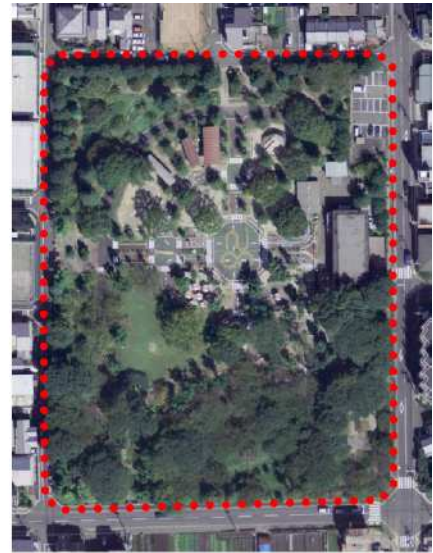
第2章 大宮交通公園の概要

大宮交通公園は、自動車交通の急速な進展に伴い、本市の交通事故発生件数が過去最大となった昭和44年に、子どもが楽しみながら交通に関する知識や、正しい交通ルールを身につけることができる施設として、区画整理事業による公園予定地に整備された本市唯一の交通公園である。

【大宮交通公園】

区 分：交通公園
場 所：京都市北区大宮西脇台町
面 積：約2.1ha
開園告示日：昭和44年3月31日
都市計画決定：昭和37年8月22日(最終)
休 園 日：火曜日、年末年始
開 園 時 間：9:00～16:30(時間外閉鎖)
そ の 他：広域避難場所※

※広域避難場所：震災時などの大火災の被害から逃れるため、概ね1ha以上の安全面積（輻射熱から身を守る空間）のある空地を指定したもの。
(収容人員6,000人)



大宮交通公園

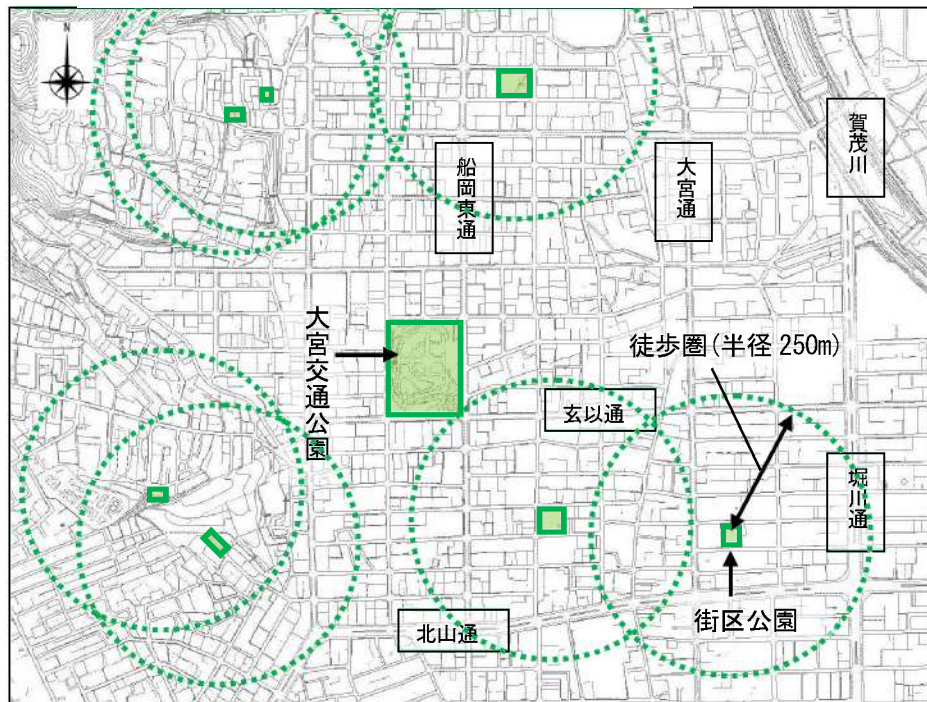


図－1 箇所図(広域)



図－2 箇所図(詳細)

当該地周辺には、子供らが遊べる街区公園が徒歩圏内（半径250m）に存在せず、本公園が街区公園の役割も果たしている。



図－3 公園配置状況

第3章 大宮交通公園の主な施設等

現在、大宮交通公園にある主な施設は、以下のとおりである。



図－4 施設配置図（現状）

1 管理棟

公園東側出入り口にある管理棟には、会議室（100 人程度収容可能）やトイレ，事務室がある。会議室は，交通教室（横断歩道や信号の利用方法等を指導。その後模擬交通施設にて実地訓練）に使用されており，主に保育園や幼稚園の児童を対象に実施されている。



管理棟（全景）



会議室（交通教室に使用）



トイレ（一般）



トイレ（バリアフリー用）

2 模擬交通施設

公園内全体を一つの都市形態に見立てて，信号機，道路標識などがある市街地部や高速道路のある山間部等，子どもが楽しみながら交通に関する知識等が学べるようゴーカートのコースが整備されている。



信号機や道路標識のある市街地部



高速道路のある山間部

3 乗り物

乗り物として、園内にゴーカート（動力付き）、足踏みゴーカートがある。



ゴーカート（動力付き）



足踏みゴーカート

4 遊具、電車等

大型滑り台（岩の山）、マンモスジャングルジム、砂場、鉄棒等の子ども用の遊具がある。また、チンチン電車、蒸気機関車が展示され、チンチン電車については、車内に入ることも可能となっている。



大型滑り台（岩の山）



マンモスジャングルジム



京都市電チンチン電車



蒸気機関車

＜参考＞京都市電チンチン電車

明治 28 年に日本で最初の電車として走り、チンチン電車として親しまれた。昭和 36 年、北野線（京都駅前～北野）の廃止により、路面から姿を消した。（定員 43 名，軌道幅 1,067mm）

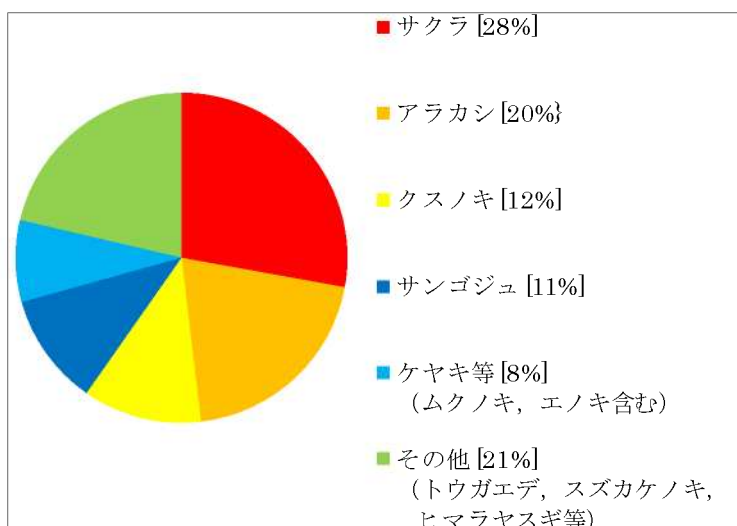
蒸気機関車

昭和 17 年につくられた C 型のタンク車で，京都府北部の大江山鉱山で使用された後，昭和 21 年加悦鉄道（丹後山田～加悦）に移り，客車を引いて活躍したが，昭和 27 年に現役を退いた。（重量 13.2t，軌道幅 1,067mm）

5 広場、緑地・園路

芝生広場や幼児用乗り物広場（足踏みゴーカートの利用等に使用）がある。また、本公園の周辺部には、「区民誇りの木」となっている桜（シダレザクラ、ソメイヨシノ）や、回遊が可能な緑地・園路がある。園内には約500本の樹木があり、主にサクラ、アラカシ、クスノキで概ね6割を占めている状況である。

晴れた日には、一般の公園と同じく、周辺に住む親子連れ等が広場や緑地を訪れ、散策を楽しむ姿が見られる。また、サクラの咲くシーズンには、多くの花見客が訪れ、賑わっている。



表－1 園内の樹木



芝生広場



幼児用乗り物広場



区民誇りの木(シダレザクラ)



緑地・園路

6 御土居, 祠

園内南側には天正19年（1591年）に豊臣秀吉が築造した御土居があり、周囲をフェンスで囲み保存している。また、御土居脇に祠（[平一大明神] 創建・由緒等は不明）が建立されている。



御土居



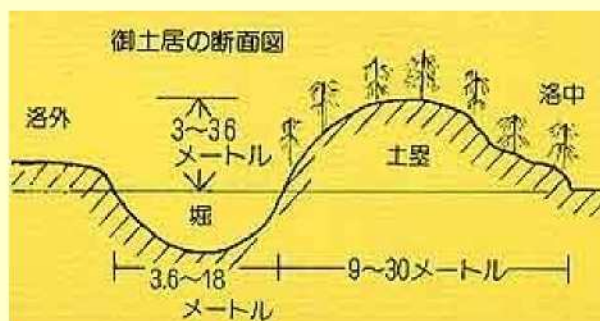
祠（平一大明神）

<参考>市内の御土居

御土居は天下統一を成し遂げた豊臣秀吉が、長い戦乱で荒れ果てた京都の都市改造の一環として外敵の来襲に備える防塁と、鴨川の氾濫から市街を守る堤防として、天正19年(1591)に多くの経費と労力を費やして築いた土塁である。

台形の土塁と堀(堀の一部は川、池、沼を利用) からなり、その延長は22.5キロメートルに及び、東は鴨川、北は鷹ヶ峯、西は紙屋川、南は九条あたりに沿って築かれた。

現在、市内に残っている御土居は11箇所。民有地内にある9箇所については、取壊し等を防止するため「史跡」指定され、当公園は「周知の埋蔵文化財包蔵地（土木工事等を行う場合は届出必要）」に指定されている。



市内の御土居

京都市文化財保護課HPより

7 防災トイレ、駐車場

園内には、災害時に利用する防災トイレ（下水道に直結した災害用マンホールトイレ5基）や、普通車15台が収容可能な有料駐車場（時間貸）がある。



災害用マンホールトイレ



有料駐車場

<参考> 駐車場利用台数（H23. 4. 1. 駐車場有料化以降）

年度	23	24	25	26	27
台数	11,975	11,999	11,472	12,372	12,059

駐車場料金

100 円/30 分（8～20 時 上限 800 円）

100 円/60 分（20～8 時 上限 800 円）

8 イベント

毎年春休みに「子どもまつり」を開催し、消防はしご車の展示、パトカーや白バイの展示及び試乗等を行っており、公園の魅力向上に繋がっている（参加者は保護者や児童等 500 人程度）。



子どもまつり

第4章 大宮交通公園を取り巻く状況

1 本公園の抱える課題

現在、本公園は二つの大きな課題を抱えている。

＜課題1＞施設の老朽化

開園から約半世紀が経過し、全般的に施設が老朽化している。

【管理棟】

老朽化している上、耐震基準を満たしていない可能性が高い。引き続き使用する場合は、耐震診断により補強工事の要否を確認した上で、対応することが必要。

【模擬交通施設や遊具、電車等】

至る所で根上りによる舗装のでこぼこがみられ、また、電車についても移設が困難な程に車両が損傷するなど施設全般で老朽化が進んでおり、大規模な修繕が必要。



根上りによる損傷



電車の老朽化

【ゴーカート】

登録台数は、単席14台、複席15台であるが、車両の老朽化が進み、現在稼働中のものは、それぞれ10台、8台となっている（平成28年12月現在）。稼働できない車両から部品を回収し、稼働中の車両の修繕に利用している状況である（稼働できない車両はオブジェとして園内に設置）。

【樹木等】

常緑樹が巨木化し、樹木間隔が密になっている。サクラの時期を除き、四季の彩りが感じにくい風景となっている。



ゴーカート（稼働不可）のオブジェ

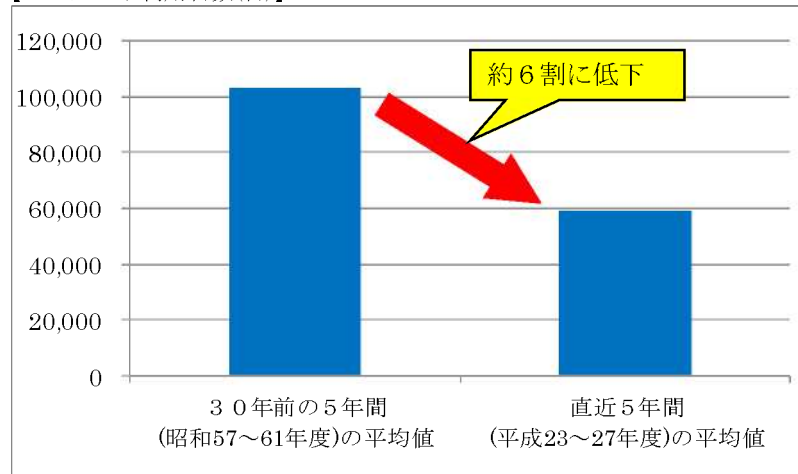


常緑樹が巨木化、四季の彩りに欠ける緑地

＜課題２＞交通学習施設（ゴーカートや交通教室等）の利用数の低下

開園当時と比べ、ゴーカートや交通教室等、交通学習施設の利用数が減少傾向にある。

【ゴーカート利用台数(台)】



表－2 ゴーカート 利用台数

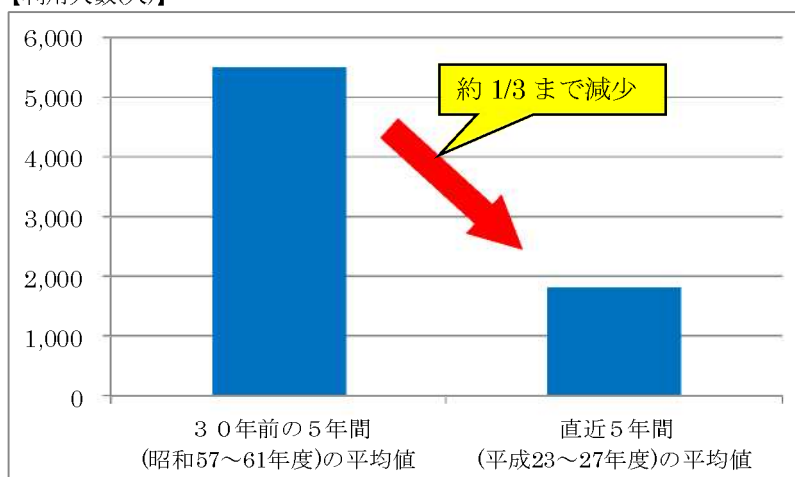
＜参考＞利用料金

複席 250 円/1 周
(回数券 600 円/3 周)
単席 200 円/1 周
(回数券 500 円/3 周)

運行日

木・土・日・祝日(その他春休み、夏休み)

【利用人数(人)】



表－3 交通教室 利用人数

＜参考＞利用料金

無料

開催日

月・水・木・金の
午前中

＜参考＞交通事故件数の状況

- 近年、京都府において交通事故件数は、平成23年（14,087件）に比較すると平成27年（9,328件）は、▲33.8%と減少傾向にあり、同時期における自転車事故も3,027件から1,916件と▲36.7%と減少している一方、全交通事故に占める自転車事故の割合は、約20%と大きな変化は見られません。〔図1参照〕
- また、自転車事故件数は減少しているものの、自転車対歩行者の事故件数は58件から64件となっており、自転車対自転車の事故件数は44件から75件と1.7倍に増加しています。〔図2参照〕
- 年齢層別の事故の発生状況から、事故を起こす割合は24歳以下の若年者層が高く、被害にあった場合の死傷者数は、20歳代以下の若年者層及び65歳以上の高齢者層に高い傾向が見られます。また、京都市の高齢化率は26.7%（3.7人に1人が65歳以上の高齢者）であり、身体能力は加齢に伴い低下する傾向にあることから、高齢者人口の増加に伴う事故リスクについても懸念していく必要があります。
【平成27年値、出典：京都市】



図1 京都府下の全交通事故と自転車事故件数

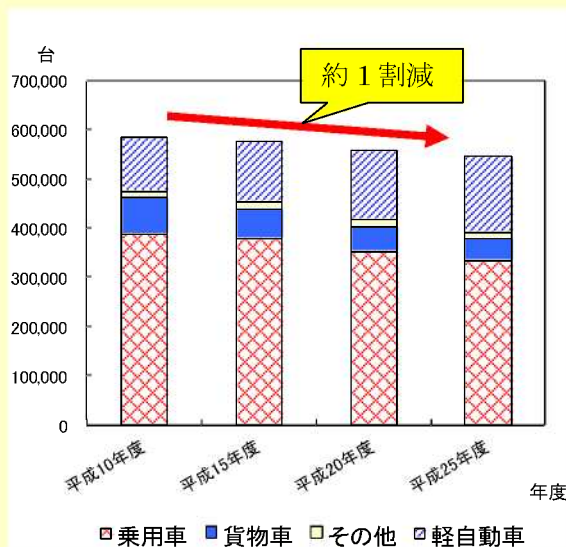


図2 京都府下の自転車対歩行者・対自転車事故の件数

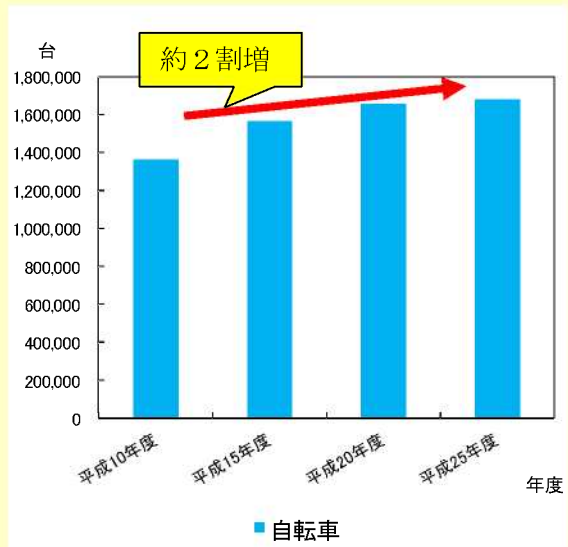
【出典：京都府警】

自転車向け保険加入の義務化に関する意見募集(H28. 10. 京都市)資料より

自動車及び自転車の保有台数の推移



自動車保有台数の推移（市内）



自転車保有台数の推移（府内）

京都市統計書、京都・新自転車計画より

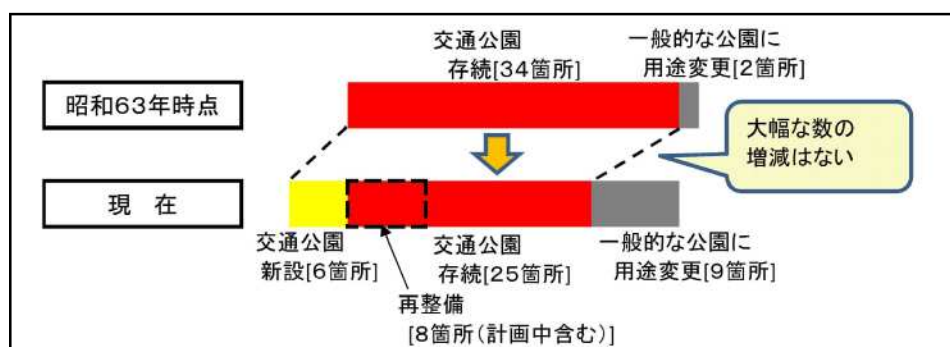
2 他都市の交通公園の状況

他都市の交通公園の状況を把握するため、本市と規模や市街化状況が近いと思われる全政令指定都市（19 都市）及び東京都 23 区に対し、実態調査を行った（平成 29 年 1 月）。

(1) 交通公園数の動向

上記 42 都市のうち 26 都市（約 6 割）において、これまでに 42 箇所の交通公園が整備され、そのうち 11 箇所（約 1/4）が一般的な公園に用途変更された。平成以降に限れば、交通公園から一般的な用途に変更した公園がある一方（9 箇所）、交通公園を新たに設置した箇所（6 箇所）や、再整備を行った箇所（計画中也含めると 8 箇所）も見られ、交通公園が活発に「新陳代謝」している様子が伺える。

昭和 44 年の当公園開園時に比べ、事故発生件数は大幅に減少しているが（本市内では事故発生件数が 18,422 件(S44)から 5,750 件(H27)に減少）、交通公園数は大幅に減少することなく、交通事情の変化に合わせて、事故防止に役立つ交通ルール・マナーが学べる施設として、引き続き利用されている。

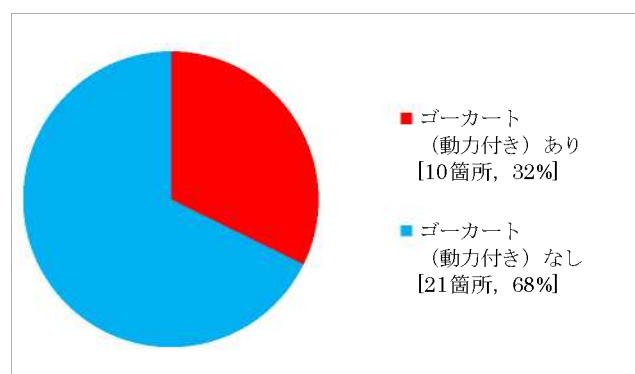


表－4 交通公園数の動向

(2) ゴーカートの有無

開園中の交通公園（31 箇所）うち、ゴーカート（動力付き）が利用されている公園は約 1/3 の 10 箇所（ほとんどが足踏みゴーカート・自転車との併用）であり、残り 21 箇所は足踏みゴーカート・自転車のみ利用となっている。

昨年度までの直近 10 年間に整備された交通公園（2 箇所）では、ゴーカート（動力付き）は利用されておらず、足踏みゴーカート・自転車のみ利用されている。



表－5 ゴーカートの有無

3 本公園敷地内への北消防署の移転

(1) 移転の効果

宅地化が進んだ北区北部地域の消防力向上を目指して、平成33年度を目途に北消防署が本公園の一部に移転する計画となっている。

この再編により、公園面積は減少（公園面積の約1/7以内(3,000㎡程度以下)）するが、災害時に広域避難場所である大宮交通公園への避難者に対して、早期の応急救護や最新の災害情報の提供が可能となるなど、北消防署との一体化により、防災機能の強化が期待できる。同時に、時代のニーズに合った施設・機能となるよう残る公園敷地も再構築することで、公園全体としてのストック効果が総合的に高まり、都市機能の向上を図ることができる。

具体的には、個別の施設配置や構造等について、消防車両や訓練状況の見学スペースや消防施設の緑化等、北消防署と公園が一体となって、相乗効果により機能的で魅力的な施設となるよう、検討していく必要がある。

(2) 北消防署の公園内の配置

北消防署の公園内の設置箇所については

- 公園形状は、凹凸が少なく、一団のまとまった形状が望ましいことから、北消防署は公園端部の利用が適切。
 - 南側部分には歴史的な資産である御土居等があることから、北消防署の設置不可。
 - 大型の緊急車両の出入りを考慮すると、二車線道路である船岡東通沿いの利用が適切
- であることから、本公園の北東部が北消防署の移転先となる。



図－5 北消防署の移転先

＜参考＞北消防署の移転理由

○北消防署は、昭和33年の竣工から50年以上が経過し、老朽化が著しい。用途地域（第一種低層住居専用地域）の規制より、現在地での建替えが難しいことから、早急な移転整備が必要。

○現在の北消防署が竣工した昭和33年以降、宅地化が進み、世帯数及び人口が大幅に増加（世帯数：約6倍、人口：約3倍）している北山通り以北の地域（鷹峯、大宮、柊野、上賀茂）について、効果的な消防活動を実施するための施設整備が必要であるが、早急に取得可能なまとまった民有地がない。

○広域避難場所でもある大宮交通公園の敷地内に移転することにより、公園と一体となって、公園の防災機能を向上させることが可能。

北区の世帯数・人口の変化

	昭和35年10月1日国勢調査				平成27年10月1日国勢調査(速報値)				増減数	
	世帯数		人口		世帯数		人口		世帯数	人口
京都市	316,567		1,284,818		705,758		1,474,570		389,191	189,752
北区	31,890		123,230		56,885		119,537		24,995	△3,693
1待鳳	2,706	8.5%	10,972	8.9%	5,107	9.0%	10,183	8.5%	2,401	△789
2紫竹	2,289	7.2%	8,565	7.0%	3,356	5.9%	6,694	5.6%	1,067	△1,871
3鳳徳	3,663	11.5%	14,165	11.5%	3,103	5.5%	6,654	5.6%	△560	△7,511
4紫野	3,780	11.9%	15,471	12.6%	3,744	6.6%	7,776	6.5%	△36	△7,695
5楽只	1,535	4.8%	5,905	4.8%	1,323	2.3%	2,345	2.0%	△212	△3,560
6鷹峯	492	1.5%	2,093	1.7%	1,928	3.4%	4,250	3.6%	1,436	2,157
7大宮	837	2.6%	3,313	2.7%	7,691	13.5%	16,604	13.9%	6,854	13,291
8柊野 *1	-		-		4,973	8.7%	11,891	9.9%	4,973	11,891
9上賀茂	1,988	6.2%	8,702	7.1%	5,338	9.4%	12,168	10.2%	3,350	3,466
10元町	1,695	5.3%	5,758	4.7%	1,496	2.6%	3,160	2.6%	△199	△2,598
11紫明	3,112	9.8%	10,911	8.9%	3,124	5.5%	6,005	5.0%	12	△4,906
12出雲路	1,209	3.8%	4,211	3.4%	1,128	2.0%	2,379	2.0%	△81	△1,832
13柏野	1,534	4.8%	7,088	5.8%	1,494	2.6%	3,198	2.7%	△40	△3,890
14大將軍	2,115	6.6%	8,044	6.5%	2,844	5.0%	5,397	4.5%	729	△2,647
15衣笠	4,482	14.1%	16,797	13.6%	4,074	7.2%	7,786	6.5%	△408	△9,011
16金閣 *2	-		-		5,846	10.3%	12,368	10.3%	5,846	12,368
17中川	174	0.5%	859	0.7%	133	0.2%	295	0.2%	△41	△564
18小野郷	179	0.6%	875	0.7%	118	0.2%	239	0.2%	△61	△636
19雲ヶ畑	100	0.3%	501	0.4%	65	0.1%	145	0.1%	△35	△356

*1 柊野学区は昭和55年、上賀茂学区西北部(旧柊野地域)と大宮学区北部(川上地域以北)が合併し誕生

*2 昭和40年の第二衣笠小学校開校に伴い第二衣笠学区として誕生

第5章 大宮交通公園のあり方の検討

本公園の特徴をまとめると、以下のとおりとなる。

＜特徴1＞模擬交通施設や乗り物を使って、交通ルール等を楽しく安全に学べる

本市唯一の交通公園である本公園には、一般車両が通行しない安全な模擬交通施設があることから、時代に即した事故防止に繋がる最新の交通ルール・マナーを、子どもに遊びながら安全に学ばせることが可能。

＜特徴2＞歴史的価値を有する御土居、区民誇りの木等住民に親しまれた一団の緑地がある

本市の歴史的な資産である御土居が園内にあり、また、区民誇りの木であるシダレザクラやソメイヨシノ等のある住民に親しまれた一団の緑地がある。

開園から約半世紀が経過し、前述のとおり、「施設の老朽化」や「交通学習施設（ゴーカートや交通教室等）の利用数の低下」等の課題への対応や、平成33年度を目途とした北消防署の移転など、再整備の必要性は高まっており、これを機に一層使いやすい公園となるよう、今後本公園に求められる機能について、検討を進める必要がある。

第6章 大宮交通公園の再整備の方向性

1 市民意見募集結果

本公園の今後のあり方について、市民意見募集を行った結果は以下のとおりである。

「大宮交通公園 再整備案」市民意見募集結果（数値データ）

（回答者の属性等）

項 目	結 果
募集期間	平成29年4月28日～平成29年6月2日（36日間）
回答数	計709通
回答者 年齢	20歳未満：16通 40歳代：111通 70歳代：63通 20歳代：114通 50歳代：139通 未記入：12通 30歳代：126通 60歳代：128通
〃 性別	男性：383通 女性：312通 未記入：14通
〃 居住地	近隣学区内（大宮、紫竹、待鳳）：275通 京都市内：364通 京都市外：37通 未記入：33通

（再整備案の感想）

項 目	結 果
再整備案の感想	たいへん良い：455通 良い：84通 改善必要：99通 未記入：71通（※たいへん良い＋良い＝539通）

大宮交通公園の再整備に関する御意見と本市の考え方について

(意見総計 1901件)

1 大宮交通公園の再整備に向けた方向性【案】について

(計 453件)

御意見（要旨）	件数	本市の考え方
・防災機能向上や老朽化対策に期待している・楽しみにしている	127	皆様のご期待に応えられるように、検討を進めてまいります。
・公園の再整備には賛成である	119	
・消防署移設反対	76	消防署の老朽化が著しくなり、現在地での建て替えが困難です。 北区北部地域の宅地化による人口、世帯の状況の変化に伴い、消防力向上のため、移転先としました。 ご理解をお願いいたします。
・時代に即した交通学習（自転車マナー等）施設にして欲しい	18	現代の交通事情の変化に対応できる施設の検討を進めてまいります。
・みどりの保全をして欲しい	14	公園として貴重なみどりを大切にし、可能な限り、みどりの保全に努めてまいります。
・綺麗な公園 ・くつろげる憩いの場	13	皆様のご期待に応えられるように、検討を進めてまいります。
・災害に強い、広域避難場所にして欲しい	12	公園と一体となり、市内北部地域の防災拠点施設として、災害備蓄倉庫等を整備し、防災機能を強化した消防署を整備してまいります。
・その他	74	

2 「交通学習ゾーン」についての御意見

(計 410件)

御意見（要旨）	件数	本市の考え方
・時代に即した交通学習（自転車マナー等）施設の整備をして欲しい	168	時代に即した交通学習施設の検討を進めてまいります。
・ゴーカートは必要ない ・別のものにして欲しい	67	交通学習の施設や設備等は貴重なご意見を参考に検討させていただきます。
・遊びながら学べる施設にして欲しい	34	皆様のご期待に応えられるように、検討を進めてまいります。
・ゴーカートを充実させて欲しい	30	時代に即した交通学習施設の検討を進めてまいります。
・再整備に期待している ・交通学習施設の存続に賛成	26	皆様のご期待に応えられるように、検討を進めてまいります。

・交通学習ゾーンは不必要・縮小	12	交通公園の再整備において、交通学習ゾーンは必要と考えております。
・その他	73	

3 「すこやか・歴史体感ゾーン」についての御意見

(計 264件)

市民意見の要旨	件数	本市の考え方
・御土居などの歴史的価値が学べるようにして欲しい ・御土居に入れるようにして欲しい	67	貴重な歴史遺産である御土居を大切に保存し、皆様に興味を持っていただけるよう、工夫をしてみたいです。また、御土居の中に入れるようにしてほしいという御意見も頂いており、検討を進めてまいります。
・みどりを保全して欲しい	43	公園として貴重なみどりを大切に、可能な限り、みどりの保全に努めてまいります。
・休める ・ゆっくりできるようなゾーンにして欲しい	37	公園の緑地を活かした空間づくりの検討を進めてまいります。
・遊べる、楽しめる ・安心できるゾーンにして欲しい	26	皆様が安全に楽しんでいただける施設の検討を進めてまいります。
・健康増進につながる整備（健康遊具等）をして欲しい	24	公園の施設や設備等は貴重なご意見を参考に検討を進めてまいります。
・賛成・期待	20	皆様のご期待に応えられるように、検討を進めてまいります。
・その他	47	

4 「防災機能強化ゾーン」についての御意見

(計 523件)

市民意見の要旨	件数	本市の考え方
・期待している ・激励 ・賛成である	250	皆様のご期待に応えられるように、整備を進めてまいります。
・消防署の移転は安心できる	53	皆様のご期待に応えられるように、整備を進めてまいります。
・防災機能が向上して欲しい ・設備が充実するようにして欲しい ・備蓄拠点にして欲しい	43	公園と一体となり、市内北部地域の防災拠点施設として、災害備蓄倉庫等を整備し、防災機能を強化した消防署を整備してまいります。
・消防署移設反対	40	消防署の老朽化が著しくなり、現在地での建て替えが困難です。 北区北部地域の宅地化による人口、世帯の状況の変化に伴い、消防力向上のため、

		移転先としました。 ご理解をお願いいたします。
・外から消防署内が見学できるようにして欲しい ・公園と一体感がでるようにして欲しい	33	公園から、消防車両や訓練の様子を見学いただけるよう、検討してまいります。 また、公園と一体的な調和を持ち、市民から親しみやすい消防署として、整備を進めてまいります。
・防災を学べる施設 ・防災センターのような子供にとっても有意義な施設	26	消防署内に、展示スペースや、地域の防火・防災活動の際に、ご利用いただける会議室の設置等について、検討してまいります。
・新しいアイデアで開かれた施設 ・利用できる施設にして欲しい	15	公園と一体的な調和を持ち、市民から親しみやすい消防署として、整備を進めてまいります。
・その他	63	

5 その他

(計 251件)

御意見（要旨）	件数	本市の考え方
・消防署移設反対	59	消防署の老朽化が著しくなり、現在地での建て替えが困難です。 北区北部地域の宅地化による人口、世帯の状況の変化に伴い、消防力向上のため、移転先としました。 ご理解をお願いいたします。
・期待している ・激励	53	皆様のご期待に応えられるように、整備を進めてまいります。
・緑のある開放的な明るい公園にして欲しい	20	皆様のご期待に応えられるように、検討を進めてまいります。
・自転車のマナー等が学べるようにして欲しい	19	時代に即した交通学習施設の検討を進めてまいります。
・ゴーカートは不必要である	17	交通学習の施設や設備等は貴重なご意見を参考に検討させていただきます。
・アクセスを良くして欲しい（駐車場の設置等）	14	皆様のご期待に応えられるように、検討を進めてまいります。
・その他	69	

2 本公園の再整備の方向性

平成 24 年度に、京都市都市緑化推進協議会（京都市都市緑化審議会の前身）において示された「京都市における都市公園の 6 つの未来像」を参考に、前記の市民意見募集結果を踏まえ、再整備の方向性について検討を行った。

【京都市における都市公園の 6 つの未来像】

平成 24 年 10 月 18 日 京都市都市緑化推進協議会 提言

- ①きずな 地域で支え合う自治と伝統文化を育む公園
地域コミュニティ活動の拠点づくり，京都の伝統文化の継承，子育て・生涯学習支援
- ②うるおい うるおいと風情にあふれるまち・京都を創造する公園
生物多様性の保全，生態系サービスの供給，地球温暖化の緩和，魅力ある住環境の創造，京都ならではの緑・景観の保全
- ③すこやか 心と体の健康をつくる公園
健康運動拠点施設の設置，スポーツ教室の開催，健康遊具の設置，農や食育に関する取組の実施
- ④たのしい 歩いて楽しい観光都市・京都を推進する公園
公園の魅力向上，固有名詞で語られる公園づくり，利用者に便利な施設の導入，休憩所・トイレの充実
- ⑤まなび 学びを育むまち・京都をつくる公園
子どもの遊び場の充実，自然とふれあう場，自然教育・活動の場，教育機関等との連携
- ⑥あんぜん 災害に強く，みんなに安心・安全な公園
オープンスペースの確保，災害対策拠点施設の設置，防災施設の設置，バリアフリー化の推進

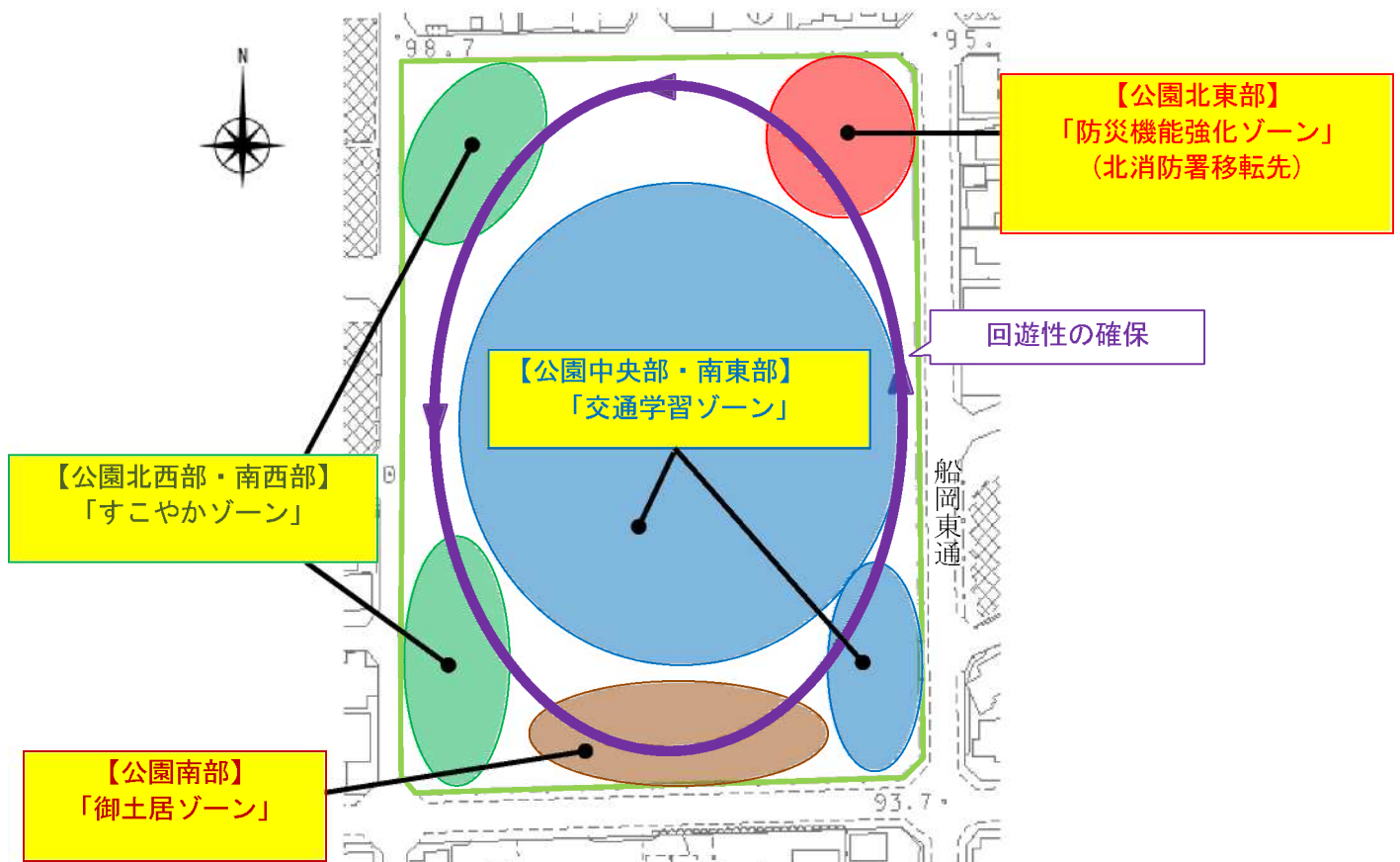
【再整備のコンセプト】

京都市唯一の交通公園として、楽しみながら交通に関する知識や正しい交通ルールを学べる公園の位置づけは継承する。

北消防署の移転を契機として、都市公園と消防の機能を一体化させ、防災機能を強化するとともに、安心・安全を守るオープンスペースを確保し、都市機能の向上を図る。

特徴のある地形を生かして回遊性を確保し、史跡的価値の高い御土居やくつろぎのある芝生広場、開かれた消防施設などを効果的につなぎ・活用することで、憩いと安らぎ、楽しさを感じられる空間づくりを目指す。

ゾーニングイメージ



【公園中央部・南東部】

(総括)

時代に即した交通学習（自転車マナー等）施設の整備や、遊びながら学べる施設を望まれている意見が大多数を占め、ガソリンエンジンのゴーカートよりも、現在の交通問題に沿った新たな交通学習施設が期待されている。

自転車の交通ルールや自転車の運転に潜んでいる危険を学べる施設と併せて、環境に配慮した乗り物等を提供できる施設を目指す。

(整備の方向性)

⇒「交通学習ゾーン」・・・現在の交通問題に沿った、自転車の安全教育を中心とした、新たな交通学習施設として整備

○[未来像④たのしい、⑤まなび]

模擬交通施設や自転車、環境に配慮した乗り物等を使って、現在の交通問題に即した交通学習が体験できる施設として整備することで、子どもから高齢者までが学び・楽しめる公園として魅力の向上を図る

【公園北西部・南西部】

(総括)

みどりを保全して欲しい、楽しめる、ゆっくりできるゾーンなどの御意見が多く、憩いの空間を望まれている。

公園はうまく活用することで、健康増進にも寄与することから、公園の地形を利用して、芝生広場や緑地帯などを歩く・座る・寝転がるなど、子どもから大人まで、自由にくつろげるオープンスペースの確保を目指す。

(整備の方向性)

⇒「すこやかゾーン」・・・区民誇りの木を活かしたやすらぎのある、明るいオープンスペースとして整備

○[未来像①きずな、②うるおい]

区民誇りの木であるシダレザクラやソメイヨシノ等、住民に親しまれた貴重な緑のうるおい空間を生かすことで、地域のつながりを大切にできるオープンスペースとして活用

○[未来像③すこやか、④たのしい]

子どもらが楽しく遊べる施設とともに、健康遊具の設置や散策路の整備等を行い、心と体の健康づくりに資する空間を創出し活用を図る

【公園南部】

（総括）

「御土居の歴史的価値を学べる」や「御土居に入れる」などの御意見が多いことを踏まえ、学びながら活用できる施設を目指す。

（整備の方向性）

⇒「御土居ゾーン」・・・歴史的な価値を有する御土居を活かした広場として整備

○[未来像④たのしい、⑤まなび]

案内看板（配置・内容）の工夫等により、公園利用者に歴史的な御土居があることを知っていただき、史跡公園のように本物を見て、感じて、学んでもらえる空間の創出を図る

【公園北東部】

（総括）

北消防署の移転に期待している、消防署の移転は安心できる、防災機能向上など、防災に対する機能強化に期待をしている意見が大多数を占める結果となり、安心・安全への期待の大きさが伺えた。

一方では、緑の減少を危惧する声もあることも踏まえ、敷地内の緑化、雨水の一時貯留機能を有する施設の設置や屋上への緑化を検討し、公園と消防署の一体化による防災機能の強化を行うことで、都市公園のストック効果を総合的に高めて都市機能の向上を図り、地域に配慮した施設整備を目指す。

（整備の方向性）

⇒「防災機能強化ゾーン」・・・北消防署と一体化し広域避難場所としての防災機能強化、環境・景観への配慮
（北消防署移転予定）

○[未来像⑥あんぜん]

備蓄倉庫や防災トイレ等の設置に加え、北消防署と一体となることにより、負傷者の応急救護や災害情報の提供等が可能となり、広域避難場所である本公園の防災能力が向上

○[未来像②うるおい、⑥あんぜん]

植栽帯等を効果的に配置することにより、生物環境や景観への配慮に寄与

○[未来像⑤まなび]

公園と消防署を可能な限り一体化させ、公園利用者（子供ら）が、消防隊の訓練や消防車両等を見学できる構造とし、防災活動に対する興味や理解の促進に繋げる

審議日程

第 1 回 大宮交通公園のあり方検討部会 平成 2 9 年 3 月 9 日

第 2 回 大宮交通公園のあり方検討部会 平成 2 9 年 7 月 1 2 日

名簿

第三期京都市都市緑化審議会 委員名簿

	氏 名	所 属 等	分野
委員	あきや ゆきえ 秋谷 幸枝	公益社団法人京都市身体障害者団体連合会評議員	団体
委員	い だ のりこ 井田 典子	株式会社京都通信社代表取締役社長	有識者
委員	えさか ゆきのり 江坂 幸典	一般社団法人京都府建築士会理事	団体
委員	こもり すみ 小森 純	社会福祉法人京都市社会福祉協議会評議員	団体
委員	た な か よしあき 田中 良明	京都商工会議所 地域開発・都市整備委員会委員	団体
委員	なかにま せつこ 中嶋 節子	京都大学大学院人間・環境学研究科教授	学識者
委員	ながやま よしひさ 長山 剛久	市民公募委員	公募
委員	の ま ひでゆき 野間 秀行	一般社団法人京都造園建設業協会会長	団体
委員	ふかまち か つ え 深町 加津枝	京都大学大学院地球環境学堂 景観生態保全論分野准教授	学識者
委員	まきむら ひさこ 横村 久子	京都女子大学宗教・文化研究所客員研究員	学識者
委員	まつたに しげる 松谷 茂	京都府立植物園名誉園長 京都府立大学大学院生命環境科学研究科客員教授	学識者
委員	やしろ あきこ 八代 章子	市民公募委員	公募
委員	やまうち やすのり 山内 康敬	株式会社京都新聞社編集局長	有識者

(五十音順・敬称略)

	氏 名	所 属 等	分野
特別委員	おがわ けいいち 小川 圭一	立命館大学理工学部都市システム工学科教授	学識者
特別委員	にしむら りょうこ 西村 良子	第二期市民公募委員	市民
特別委員	もりもと ゆきひろ 森本 幸裕	京都大学名誉教授 京都学園大学バイオ環境学部教授	学識者

(五十音順・敬称略)

諮 問 書

京都市都市緑化審議会会長

森本幸裕 様

本市唯一の交通公園である大宮交通公園のあり方を検討するに当たり、貴審議会のご意見をいただきたく、ここに諮問します。

平成29年1月25日

京都市長 門 川 大 作